



## 地域のみなさんを幸せにする ～ ①防災訓練 ②駅前花壇の整備 ～

2022年が終わろうとしています。「広報たかしま」12月号(No275)をご覧になりましたか。5,6年生の地域学校協働活動(平井)のことを掲載していただいています。平井区の活動は、第6号(9/16発行)で紹介した夏のラジオ体操に取り組むグループと10月の防災訓練に取り組むグループに分かれて活動しました。手作りのパンフレットを配布し、地震発生時にすべき行動・必要となる物品・地震発生時に居合わせた場所によってかわる行動様式、そして災害時には、どのルートを通ってどこへ避難すべきかを紹介しました。小学生の発信に地域のみなさんは耳を傾けてくださいました。(写真上:○×クイズの様子)湖西中学校でも有事に備えて、住民の一人としてどう行動すべきかについて地域のみなさんと協議をして考えるような実践的な学習を行っていますが、一人でも多くの地域住民の命を救う、安全を守るためにどうすべきかという学習や子どもたちからの発信の重要性を感じ、そのことが地域のみなさんの幸せにつながることを認識させられる取組となりました。

また、12月3日には、新旭駅前の花壇に新旭養護学校の生徒が花の苗を植える活動を行いました。この活動は新旭青少年育成学区民会議との協働によるものです。活動中に冷たい雨が降ってくる悪天候のなかでの作業となりましたが、活動後の「この花を見ながら地域のみなさんが喜んでいただければ…」という生徒の挨拶からも、地域住民を幸せにしたいという願いを感じる活動でした。(写真下)

いずれも、新旭町内の小中学校・養護学校と地域が協働して地域を盛り上げる活動です。市内の小中学校では、「学校地域連携カリキュラム」を作成中です。本校においても学校運営協議会等で協議を進めているところですが、このような校種の異なる学校とも連携を深めながら、新旭は地域みんなで子育てができる町へと歩みを進めています。



cc 広報たかしま

## 思いやりあふれる学校に ～ 人権月間の取組より ～

12月10日は「世界人権デー」でした。これは、1948年に開催された国際連合第3回総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して制定された国際デーです。世界人権宣言とは、人として生きる権利を尊重するもの、70年以上も前、戦争や人種・宗教・思想の違いなどによる、さまざまな差別や不平等をなくそうと国の違いを超えて心をつなげた行動は画期的なものだったと想像します。国内でも例年「人権週間」を設けていますが、北小学校では、11月1日からの1か月あまりを「人権月間」として、人権について考える取組を行ってきました。

児童昇降口の正面には『ぼっかばかの木』が掲示されています。これまでの学校生活をふり返って、思いやりを感じたこと、人にされてうれしかったことを花にして子どもたちが、貼り付けてきたものです。自分のことを助けてくれたり、手伝ってくれたり、励ましてくれたり、そんなコメントが多いなかで、「〇〇さんが、自分のことを注意してくれた」というような、自分を正してくれようとするに対する感謝を述べた花が複数見つかりました。注意をした子たちも素晴らしいのですが、それをしっかりと受けとめて自分が今より善い人になろうとして、花にしてみんなに広める子たちがいることに感心しました。ほかにも「〇〇さんがトイレのスリッパを並べてくれた」という公共のために尽くす行動に目をつけて感謝するコメントも複数ありました。この視点を持つことにも感激したところです。11月29日には、「ぼっかばか集会」を開催する予定でしたが、感染症の流行により全校児童が集合することを避け、各学年の発表を撮影して学級ごとに見合う方法に切り替えました。

第7号(10/28発行)で紹介したような思いやりあふれる行動がたくさん見られる北小学校でありたいと願っています。ただ、現実を見ると、心ない言葉で仲間を傷つけることや、こそこそ話で嫌な思いをさせるような行動がないわけではありません。並行して実施した「SOSアンケート」や個人面談の中で担任が初めて気づくこともあります。そういった機会に限らず、お子さんの様子や地域の子どもたちの気になる行動については、学校までお知らせいただくようお願いいたします。地域のみなさんからの情報によりいじめを未然に防いだり、小さな芽のうちに摘むことができることもあります。どうかご協力をお願いいたします。



## タテのつながり(小中一貫教育) ～ 湖西中学校区・研究発表会 ～

11月17日、湖西中学校区小中一貫教育発表大会を開催しました。高島市全域で取り組んでいる小中一貫教育ですが、今年度はマキノ中学校区・湖西中学校区で発表を行いました。小中一貫教育という名称となっていますが、2つのこども園・市内2つの高等学校も含めた取組を進めています。この日は5年生以下は午前中のみ授業で下校し、6年生は湖西中学校へ移動して中学校の教員から授業を受けました。北小6年生は、松組が理科を、竹組が算数(数学)を、南小6年生は外国語を、湖西中学校3年生は、数学・国語・美術を高校の教員から学びました。

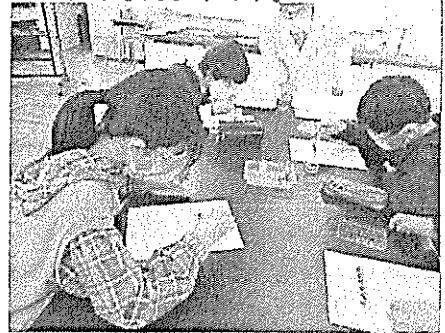
授業を終えた後、6年生の子どもたちにアンケートをしたのですが、松組・竹組ともに「とても楽しかった」が8割強、「楽しかった」が2割弱という結果で、「少し不安になった」や「とても不安になった」と答えた子は誰一人いませんでした。6年生は4年生の夏(校舎大規模改造工事中)に中学校へ通って担任から授業を受けた経験もあるので、環境としての不安は少ないだろうと予想はしていましたが、湖西中学校の先生による50分の授業にも不安を抱くことなく、やりがいを持って終えることができたようです。

### ●子どもたちの感想(理科)

- 自分の調べたい物の性質(酸性・アルカリ性)を調べることができた。
- 性質の予想はついていただけ、友達が調べた液体の性質を知ることができ、結果を聞くのが楽しみだった。
- 実験がとても楽しく、中学校の気分を少しでも味わうことができた。

### ●子どもたちの感想(数学)

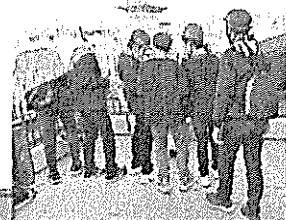
- トランプを使いながらの学習は、わかりやすかった。
  - ゲームをしてから問題を考えていったから楽しかった。
  - 最初は緊張したけど、だんだんと楽しさが勝って緊張がなくなった。
- また、翌週には中学校の先生が北小に来てくださり、松組に算数(数学)を竹組に理科を指導していただきました。彼らも4か月後には中学生となります。滑らかなスタートが切れることを祈っています。



## 3年ぶりの宿泊行事 修学旅行

引き続き6年生の話題となりますが、発表会の翌日(18,19日)には修学旅行を実施しました。過去2年間は、緊急事態宣言等の影響を受けて宿泊の行事はできませんでした。今年度の5年生フローティングスクールも同様に日帰り航海となっていました。3年ぶりの宿泊行事が実現したのです。今年コースは、1日目が奈良(奈良公園・東大寺など)、宿泊は滋賀県内(大津市)、2日目は三重(長島スパランド)を設定しました。「なぜ県内で宿泊を?」と思われるかもしれませんが、これも感染症の影響を受けての決定です。

ちょうど2年前の12月に当時の5年生(現中1)の保護者のみなさまにアンケートをお願いしました。万が一、旅行途上で発熱や陽性反応があった場合、公共交通機関を利用して戻ることはできません。現地で医療機関にかかった場合は、入院や宿泊療養となって、療養期間を過ぎないと戻ってくることはできません。保護者にお迎えを要請することになります。(これは現在でも変わりません)その条件のもと、こういった修学旅行がいいのかについてのアンケートでした。「とにかく宿泊体験をさせてやりたい」という回答が多く、行き先にこだわらない傾向が見えました。結果的に宿泊はかないませんでした。そして迎えた今年、宿泊先での子どもたちの楽しそうな笑顔を見ていると、遠くへ行かなくとも宿泊できる意義は大きいと感じました。「夜のつどい」(写真下)は最高に幸せな時間となりました。



## 1月 学校行事予定

5日 (木)	学年費口座振替 (5,6年)
10日 (火)	始業式
11日 (水)	給食開始 委員会活動
13日 (金)	PTA実行委
15日 (日)	家読の日
16日 (月)	避難訓練 (原子力防災) 体力アップ週間(～27日)
18日 (水)	字別児童会
20日 (金)	入学説明会
23日 (月)	クラブ活動 (水曜日課)
25日 (水)	学習参観
30日 (月)	6年スキー教室
31日 (火)	湖西中入学説明会

学校閉庁期間(12/28-1/4)  
に緊急事態(大きな事故等)が  
起こった時は、市役所(25-  
8000)にご連絡ください。



新型コロナウイルスに関する文部科学省の基本的対応方針が以下のとおり変更されました。

- 座席の配置を工夫したり換気を行ったりするなどの措置を講じた上で、給食の時間において、児童の間で会話を行うことを可能とする。
  - マスク着用が不要な場面(屋外や対人との距離が十分に確保できる環境)においてはマスクを外すなど、活動場所や活動場面に応じたメリハリのあるマスク着用を心がける。
- この変更を受けて、引き続き感染を拡大させないためにどう行動すべきかを子どもたちに考えさせています。そのうえで、3学期には学校としてのおおまかなルールを決め、共有することにします。